

A-FUNS 始動!

先週、1 年の情報技術科を対象に東京 P-TECH のキックオフを行いました。本事業は、都教育委員会の指定を受け、高校 3 年間と専門学校 2 年間の計 5 年間で高度 IT 人材を育成する取組です。

急速に進歩する情報化社会においては、これをやってあげば大丈夫と断言できることはなく、常に新しい知識や技術を身に付けることが求められます。言い換えれば、自分自身を常に成長させるために、人や書物を通して新しい学びに触れ、自分自身に問いかけながら諦めずにチャレンジを繰り返すことが求められます。その学びがスタートします。



今回の出発式では、協力していただく外部関係者の方々との顔合わせと、事業所管の教育委員会からの激励を受ける機会となりました。教育委員会からは、約 6 万人以上の教員の最上位職となる教育監から、生活を支えるものづくりの存在価値と、工業での学びが新たな価値の創造につながり、生活を豊かにすると熱い思を伝えていただき、1 年生もうなずきながら聞いていました。

今後、荒工生が IT 分野の専門的な学びをワクワクしながら、楽しめる機会を沢山つくるために、日本電子専門学校、株式会社 freee、内田人材開発センタ、SoftBank 株式会社 に御協力をいただき、授業だけでなく放課後や長期休業中に学びの場を設定します。そして、今後この連携を「A-FUNS」と呼びます。この名称は、協力者の頭文字を合わせた言葉で、荒工で楽しいことが沢山始まること、荒工生のファン（応援者）が多くなることを願い命名し、日本電子専門学校の五十嵐先生にロゴを作成してもらいました。このロゴが長く皆さんに親しまれるよう、やりたいと思ったら、恥ずかしながらに挑戦してください。

ぶらり、あらこう散歩

【番外】松尾芭蕉を知っていますか？江戸時代の俳諧師で、東北や北陸を旅しながら作った紀行文「奥の細道」は有名ですね。実は、先日、荒工の学びの充実化を図るために山形県の酒田光陵高校に視察に行ってきました。その途中で出会った松尾芭蕉の銅像。松尾芭蕉の銅像？そうです南千住の駅前にもありますね。ここ南千住は松尾芭蕉のゆかりの地であり、スサノオ神社は「奥の細道」の旅の出発地とされています。



そんなことを思いつつ、Google マップで南千住から山形県酒田市へ徒歩で検索、なんと距離は 444Km、時間は歩き続けて 3 日と 19 時間。気の遠くなるような道のりです。更に実際の「奥の細道」を調べてみると、東北、北陸の全行程で 2,400 キロ、時間は 150 日、1 日に多い時は 50 キロを歩いたとされています。すごい！チャレンジですよ！距離や時間だけでなく、体力や気力もすごいですね。芭蕉に負けるな！進み続けろ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」